

拠出金名：南部アフリカ開発共同体拠出金

国際機関等名	南部アフリカ開発共同体 (英文名称・略称) Southern African Development Community (SADC)					
種 別	国連(事務局)		国連(基金・計画)		国連専門機関 (その他)	
所轄官庁担当局課名	外務省中東アフリカ局アフリカ第二課					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
	金 額				拠出率(%) (注)	ODA率(%)
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト		
平成17年度	0	0		1 = 円	(2005年)	
平成16年度	0	0		1 = 円	(2004年)	
平成15年度	7,418	61		1 \$ = 122 円	(2003年) 0.9	100
拠出上位5ヶ国				国際機関等の財政		
	国 名	(千ドル)	率(%)			
1位	EU	4,702	71.1	当該年度の収入 N/A		
2位	ベルギー	1,544	23.3	当該年度の支出 N/A		
3位	スイス	160	2.4	次年度への繰越 N/A		
4位	フランス	151	2.3	会計検査機関名		
5位	日本	61	0.9	N/A		
上記の率及び順位は2003-2004年のもの				(現在の構成員の出身国: N/A)		
当該機関に対する我が国としての評価(当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
SADCは、南部アフリカ地域の域内経済の発展及び地域統合等を目的とした地域経済共同体である。近年では選挙ガイドラインを策定し、選挙監視団を派遣するなど平和の定着の分野でも積極的に活動している。加盟国には、サブサハラ・アフリカのGDPの約4割を占める南アフリカ共和国を含み、域内は天然資源にも恵まれていることから、SADCは今後のアフリカの発展にとり重要な存在。また、我が国はアフリカ開発会議(TICAD)プロセスにおいて、地域機関を通じた地域協力を推進しており、SADC事務局の強化につながる支援を行うことは我が国の対アフリカ外交にとり有益である。						
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価						
2001年のSADC首脳会議において、本部への権限集中型組織への移行が決定され、改革が引き続き進行中である。我が国としても、より効率的な組織に向けた改革の方向性を高く評価しており、「SADC機構改革支援の実施に伴う加盟各国での国別委員会にかかるワークショップ」に対して拠出している。各加盟国において国別委員会が設置され、また事務局本部において21部門が4つの分野に統廃合されるなど、事務局の権限が拡大した組織に変革された。2006年3月を目途に改革を進めていたが、採用人事に時間がかかり機構改革完了までにあと1-3年かかると言われている。						
邦人職員数 うち幹部以上	0人 うち 0人	当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体にし める率			人 0%	
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考		
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						
なし						

(注) SADCでは近年各ドナーからの拠出金及び財政状況は不開示とした。